

NYマーケットレポート (2021年12月16日)

2021年12月16日(木)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%
日経平均	29,066.32	+606.60	5.91%
ハンセン指数	23,475.50	+54.74	-13.79%
上海総合	3,675.02	+27.83	5.81%
韓国総合	3,006.41	+17.02	4.63%
豪ASX200	7,295.66	-31.42	10.76%
シンガポールST	3,128.80	+13.92	10.02%
インドSENSEX	57,901.14	+113.11	21.26%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	113.70	114.25	113.56
EUR/JPY	128.82	129.64	128.45
GBP/JPY	151.49	152.64	151.10
AUD/JPY	81.67	82.44	81.42
EUR/USD	1.1331	1.1361	1.1281
BRL/JPY	19.925	19.979	19.752
RUB/JPY	1.540	1.553	1.535

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%
英FT100	7,260.61	+89.86	12.38%
仏CAC40	7,005.07	+77.44	26.19%
独DAX	15,636.40	+160.05	13.98%
スペインIBX35	8,380.00	+105.00	3.79%
イタリアFTSE MIB	26,782.44	+116.36	20.46%
トルコ・イスタンブール100	2,278.55	+116.29	54.30%
ロシアRTS	1,604.70	+63.70	15.66%
南ア全株指数	休場		#VALUE!

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1,798.20	+33.70	-5.34%
NY 原油	72.38	+1.51	48.84%
CBOTコーン	591.25	+5.25	22.35%
CRB指数	227.239	+3.419	35.43%
ドル指数先物	95.994	-0.517	6.73%
VIX指数	20.57	+1.28	-9.58%

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	35,897.64	-29.79	17.29%
S&P500	4,668.67	-41.18	24.30%
NASDAQ	15,180.43	-385.15	17.78%

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	20,739.78	-29.38	18.97%
メキシコ・ボルサ指数	51,384.06	+220.40	16.60%
ブラジル・ボベスパ指数	108,326.30	+895.10	-8.98%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	48155	49265
Ripple(XRP)【BSTP】	0.816	0.835
Ethereum【BSTP】	4032.64	4065.09
Bitcoin Cash	445.19	449.35

オセアニア国債利回り	本日	前日
オーストラリア10年債	1.575%	1.567%
ニュージーランド10年債	2.350%	2.362%
日本国債利回り		
2年債	-0.108%	-0.097%
10年債	0.047%	0.053%
30年債	0.660%	0.662%

12/17 経済指標スケジュール
09:00 【ニュージーランド】12月ANZ企業景況感
09:01 【英国】12月GfK消費者信頼感
09:30 【シンガポール】11月電子機器輸出
09:30 【シンガポール】11月輸出[除石油]
12:00 【日本】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定)
16:00 【ドイツ】11月生産者物価指数
16:00 【英国】11月小売売上高
16:00 【欧州】11月新車登録台数[EU-27]
16:45 【フランス】3Q 賃金
18:00 【ノルウェー】12月失業率
18:00 【ドイツ】12月IFO[企業景況感指数]
18:00 【ポーランド】11月雇用
19:00 【欧州】11月消費者物価指数
19:00 【欧州】10月建設支出
22:30 【カナダ】10月国際証券取扱高
22:30 【カナダ】11月住宅価格指数

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.348%	-0.360%
英国 10年債	0.757%	0.736%
フランス 10年債	0.010%	-0.010%
イタリア 10年債	0.970%	0.920%
スペイン 10年債	0.390%	0.350%
米国債利回り		
2年債	0.613%	0.663%
10年債	1.411%	1.456%
30年債	1.852%	1.860%

12/17 主要会議・講演・その他予定
・黒田日銀総裁 定例会見
・ウォラーFRB理事 講演(経済見通し)

NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

主要な欧州経済指標の結果

欧州中銀 政策金利 0.00%（予想 0.00%・前回 0.00%）

欧州中銀 下限政策金利[中銀預金金利] -0.50 %（予想 -0.50%・前回 -0.50%）

欧州中銀 上限政策金利[限界貸出金利] 0.25%（予想 0.25%・前回 0.25%）

ECB 声明

- ・従来の資産購入プログラムを 4-6 月に 400 億ユーロに増額
- ・PEPP の再投資を少なくとも 2024 年末までに延長
- ・PEPP は前四半期に比べやや少ないペースで継続へ
- ・PEPP の純購入は必要に応じ再開も
- ・2022 年のインフレ率を 3.2%と予測（従来予測 1.7%）
- ・2022 年のコアインフレ率は 1.9%と予測（従来予測 1.4%）
- ・2023 年のインフレ率を 1.8%と予測（従来予測 1.5%）

ラガルド総裁定例会見での発言

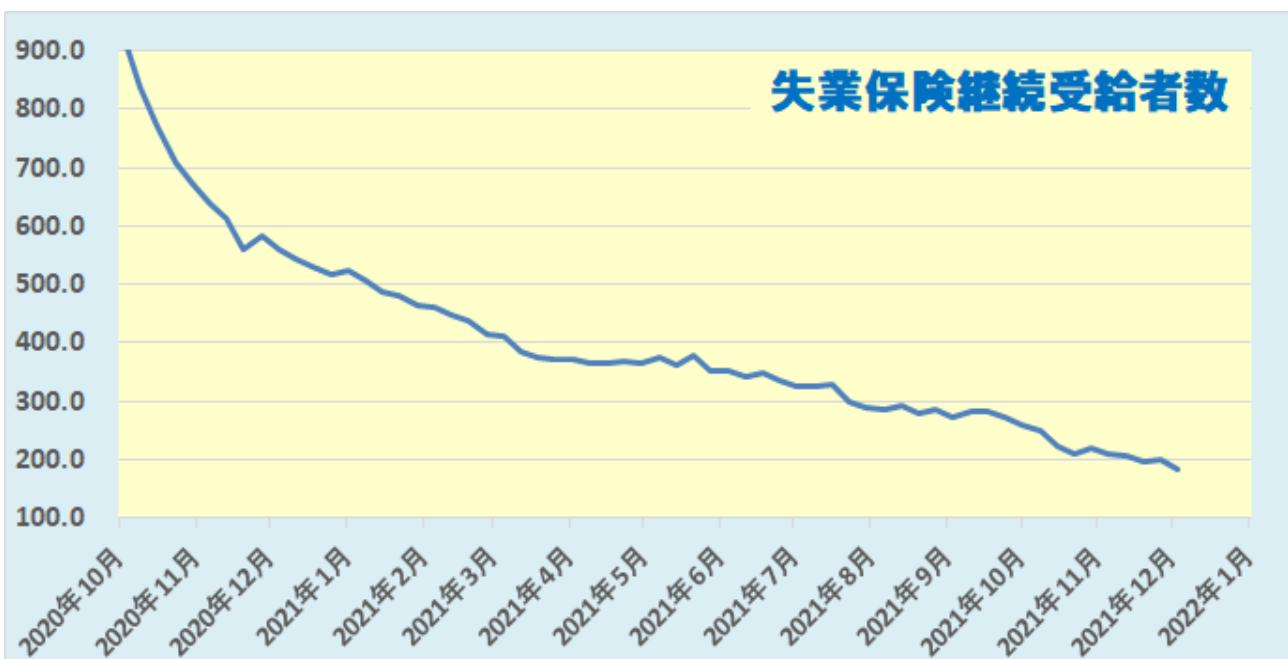
- ・インフレは経済予測の対象期間中に目標以下に落ち着く
- ・インフレ率は来年のうちに低下する
- ・インフレ率は 2022 年の大半の期間で 2%上回る
- ・ECB が来年に利上げする可能性は極めて低い
- ・インフレ見通しには上振れリスクも
- ・PEPP の再開には政策委員会の決定が必要

米国の主要な経済指標の結果

新規失業保険申請件数 20.6 万件（予想 19.5 万件・前回 18.4 万件⇒18.8 万件）

失業保険継続受給者数 184.5 万人（予想 193.8 万人・前回 199.2 万人⇒199.9 万人）

米新規失業保険申請件数（12/11 までの週）は、前週比で+1.8 万件となり、約 52 年ぶりの低水準となった前週から増加した。ただ、4 週移動平均は前週比-1.6 万件となり、1969 年 11 月以来、約 52 年 1 ヶ月ぶりの低水準となった。一方、失業保険継続受給者数（12/4 までの週）は、前週比-15.4 万人となり、昨年 3 月以来、約 1 年 9 ヶ月ぶりの低水準となった。



データを基に SBILM が作成

11月住宅着工件数 167.9万件（予想 156.6万件・前回 152.0万件⇒150.2万件）

11月住宅着工件数（前月比） 11.8%（予想 3.0%・前回 -0.7%⇒-3.1%）

11月建設許可件数 171.2万件（予想 166.0万件・前回 165.0万件⇒165.3万件）

11月建設許可件数（前月比） 3.6%（予想 0.4%・前回 4.0%⇒4.2%）

11月の米住宅着工件数は、3ヵ月ぶりのプラスとなった。住宅ローン金利が低水準にとどまっていることなどが影響したとみられる。一戸建て住宅は117.3万件（前月105.4万件）、集合住宅は50.6万件（44.8万件）。地域別では北東部、南部、西部がプラス、中西部はマイナスとなった。着工件数の先行指標となる建設許可件数は、2ヵ月連続の増加となった。



データを基に SBILM が作成

米主要株価指数は反落、ナスダックは約 2 ヶ月半ぶりの大きな下げ幅

米株式市場では、前日の FOMC が予想の範囲内の結果となったことが引き続き材料視され、主要株価指数は底固い動きとなった。ただ、米長期金利が上昇するとの見方から、金利動向に敏感なナスダックは序盤から軟調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 262 ドル高まで上昇した。しかし、その後は下落に転じて 149 ドル安まで下落したものの、終盤にかけて下げ幅を縮小する動きとなり、29.79 ドル安 (-0.08%) で終了。一方、ハイテク株中心のナスダックは 385.15 ポイント安 (-2.47%) で終了し、下げ幅は 9/28 以来、約 2 ヶ月半ぶりの大きさとなった。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	通信サービス	2.34%	1	ベライゾン	4.35%
2	金融	1.92%	2	トラベラーズ	2.30%
3	素材	1.04%	3	IBM	2.29%
4	エネルギー	0.93%	4	ゴールドマン・サックスG	1.91%
5	消費財	0.92%	5	キャタピラー	1.79%

データを基に SBILM が作成

ドル円・クロス円は軟調な動き

NY 市場では、序盤に発表された米新規失業保険申請件数が予想を上回る増加となったものの、住宅着工件数は増加となるなど、まちまちの結果となったことから、ドルは序盤から小動きの展開となった。一方、ECB が PEPP（パンデミック緊急プログラム）終了後、来年 4 月に資産購入額が半減するとの見通しを示したことを受けてユーロはドルや円に対して堅調な動きとなった。ただ、ラガルド ECB 総裁の会見で「ECB が来年に利上げする可能性は極めて低い」との見方を示すなど、ハト派的と受け止められたことから上値の重い動きとなった。その後、米政府が生体情報を使った監視に関与したとして、中国の研究施設に制裁を科すとの報道を受けて米中対立への懸念が高まったことから投資家のリスク回避の動きが広がり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。さらに、米長期金利の指標となる米 10 年債利回りが 1.477% から 1.413% まで低下したことも加わり、ドル/円は序盤の高値 114.19 から 113.56 まで下落した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。